

# 平成31年度当初予算のポイント

四日市市 財政課 Tel. 354-8130

## 1. 当初予算の編成

平成31年度当初予算の編成にあたっては、第3次推進計画の目標達成に向けて、事業進捗を図るとともに、地域経済の活性化につながる施策や本市の魅力を向上させる施策など、本市が先駆的なモデル都市として情報発信できるような各部局の取り組みや、働き方改革の視点から働きやすい環境づくりと効率的な業務執行の工夫などについて、重点的・集中的に予算を配分する方針としました。

平成31年度当初予算の歳入は、市内企業の好調な業績や大型設備投資に伴い、法人市民税や償却資産に係る固定資産税が大幅に増加する見込みであることから、市税収入769億円を計上し、当初予算としての過去最高額を3年連続で更新しました。

このような歳入の見込みを受けて、歳出では、国体関連施設や文化会館リニューアルなどの大規模投資事業を複数並行して実施中であることから、投資的経費の総額として212億円を計上するなど、積極的な予算編成を行いました。

その結果、一般会計の予算規模が初めて1,200億円の大台を突破し、過去最高額の1,210億円となりました。

一方、経済環境の激しい変化によって市税収入が急減するリスクに備えるとともに、中長期的な見通しから、高齢化による社会保障関連経費の増加や、高度成長期に多数建設したインフラ・公共施設の大量更新に要する多額の財源も、本市にとって今後の大きな課題になっています。

そのため、引き続き財政健全化を推進することとし、大規模投資事業を実施しながらも、交付税措置のない市債の発行を抑制してプライマリーバランスを確保したほか、将来への備えとして基金への積み立てを行い、将来世代の負担の軽減に最大限努めました。

## 2. 予算規模

	〔平成31年度当初予算額〕 (2019年度)	〔対前年度比〕
一般会計	1210億 円	( 3.6%)
特別会計	762億1810万円	( 0.0%)
企業会計	652億3690万円	( Δ1.7%)
財産区	4630万円	( 2.7%)
計	2625億 130万円	( 1.2%)

国の一般会計当初予算	対前年度比	3.8%
		(消費増税対策の臨時・特別の措置を除く通常分1.8%)
地方財政計画	対前年度比	3.1%

### 3. 新規事業、主要事業

#### 総務費

- ①【拡充】シティプロモーション推進事業費（当初予算資料 P98） 予算額 5,400 千円  
大勢の人が行き交う JR 名古屋駅構内のデジタルサイネージにおいて、本市の PR 映像を新たに制作・放映し、本市の都市イメージ及び存在感の向上を図る。
- ② 総合計画推進事業費（当初予算資料 P30） 予算額 11,803 千円  
少子高齢化の進展する人口減少社会にあっても、新たな政策課題に迅速かつ的確に対応し、市内外の方々から選ばれる「元気都市四日市」を実現していくため、2020 年度（平成 32 年度）を初年度とする次期総合計画を策定する。また、現総合計画に基づく第 3 次推進計画（平成 29～32 年度）の着実な推進を図る。
- ③【新】産学官連携事業推進費（当初予算資料 P32） 予算額 6,000 千円  
2019 年（平成 31 年）2 月、近鉄四日市駅西側近傍に、三重大学北勢サテライト及び東京大学地域未来社会連携研究機構のサテライト拠点が設置されることに伴い、市内企業と大学等研究機関などとの産学官の連携を強化し、先端技術分野や AI・IoT 分野などの研究開発等による地域産業の競争力強化や、教育分野や環境分野などの地域の課題解決のための取り組みにつなげる調査研究を行う。
- ④【新】AI 等を活用した庁内業務改善事業費（当初予算資料 P40） 予算額 17,370 千円  
働き方改革を推進するため、AI 等の活用による業務改善の効果が見込まれるものについて、実証実験を通じて導入における効果分析などの検討を行った上で、本格導入を実施する。また、育児休業等の市職員が、復帰後もスムーズに職場環境に適応できるよう、職場情報を取得できる環境を構築する。
- ⑤ 総合防災拠点整備事業（当初予算資料 P25） 予算額 200,000 千円  
大規模災害時に、災害対策本部との連携や全国からの救援物資の受入れ（第 1 次拠点）、消防・自衛隊等の受援拠点となるほか、応急仮設住宅用地への活用可能な総合防災拠点の整備に向け、造成工事を行う。（供用開始時期：2021 年度（平成 33 年度）予定）
- ⑥ 避難施設等整備事業（当初予算資料 P24） 予算額 11,600 千円  
生活用水の確保やトイレ環境の整備、通信手段の確保のため、防災井戸（浅井戸）設置や浅井戸が設置できない指定避難所に浄水器を配備するほか、事前配備の災害時用公衆電話である特設公衆電話を設置する。
- ⑦【新】地域応急給水栓配備事業（当初予算資料 P26） 予算額 11,530 千円  
大規模地震による災害等においては、広域的な断水状況が想定されることから、市による応急給水（拠点給水・運搬給水）に加え、より身近な場所で応急給水を実施できるよう、「応急給水栓」を地域に配備する。
- ⑧【新】四日市北警察署跡地整備事業費（当初予算資料 P61） 予算額 1,400 千円  
四日市北警察署の移転に伴い、その跡地周辺における治安・防犯機能の確保を目的として、地域住民、警察等と連携し運営する地域防犯拠点施設の整備に向けた設計を行う。

- ⑨【拡充】地区市民センター整備事業費（当初予算資料 P56） 予算額 105,600 千円  
（うち UPS 設置工事分 33,600 千円）  
（うち防犯カメラ設置工事分 4,080 千円）

全地区市民センターに UPS（無停電電源装置）を設置することにより、停電時における窓口業務の継続や、地域防災拠点としての機能の充実を図る。また、全地区市民センターの窓口に防犯カメラを設置することにより、窓口業務等における安全性向上に努める。

- ⑩ 文化会館大規模改修事業費（当初予算資料 P64） 予算額 1,254,642 千円

市民が安全に文化会館を利用できるよう、第 1・第 2 ホール等の吊天井崩落対策工事を実施する。併せて、市民の利便性向上や施設の長寿命化を図るため、トイレ洋式化、第 1 ホール客席更新、屋根防水対策などの大規模改修工事を実施する。

（工事期間：2018 年（平成 30 年）1 月～2019 年（平成 31 年）9 月）

また、リニューアルオープンに伴い、質の高いコンサートを多くの市民に楽しんでもらうための記念事業を実施する。（予算額 2,800 千円）

- ⑪【新】ハーフマラソン開催準備経費（当初予算資料 P158） 予算額 10,000 千円

2020 年度（平成 32 年度）の市制 123 周年を彩るメインイベントとして、本市の都市魅力の発信、地域活性化による経済効果、生涯スポーツ人口の拡大等につなげるため、ハーフマラソン開催に向けた実施計画等を作成する。

- ⑫ 東京オリンピックキャンプ地等誘致事業費（当初予算資料 P167） 予算額 5,800 千円

2020 年（平成 32 年）の東京オリンピックにおけるカナダ体操チームの事前キャンプに向けた調整及びホストタウン事業を行うとともに、2021 年（平成 33 年）の三重とこわか国体・三重とこわか大会開催に向けて整備を進めるスポーツ施設の活用を見据えた大規模大会の誘致を行う。

- ⑬ 霞ヶ浦緑地運動施設整備事業費（国体関係）（当初予算資料 P164）

予算額 1,210,000 千円

2021 年（平成 33 年）の三重とこわか国体開催に向けて、霞ヶ浦緑地に新野球場を整備する。

（供用開始時期：霞ヶ浦第 3 野球場（仮称） 2020 年（平成 32 年）5 月予定）

- ⑭ 中央緑地運動施設整備事業費（国体関係）（当初予算資料 P165） 予算額 4,321,000 千円

2021 年（平成 33 年）の三重とこわか国体・三重とこわか大会開催に向けて、中央緑地に四日市市総合体育館、トリムコースを整備する。

（供用開始時期：総合体育館 2020 年（平成 32 年）5 月予定）

- ⑮ 霞ヶ浦緑地運動施設整備事業費（推進計画）（当初予算資料 P159） 予算額 279,000 千円

霞ヶ浦プールにおいて、市民大会などの大会運営機能やレジャープールとしての利便性・安全性を向上させるため、25m・50m プール槽の更新やプールサイド等の改修を行う。

（供用開始時期：霞ヶ浦プール 2019 年（平成 31 年）7 月予定）

- ⑯ 中央緑地運動施設整備事業費（推進計画）（当初予算資料 P160） 予算額 683,000 千円

中央陸上競技場において、芝・トラックの張替のほか、利用者の安全性及び利便性の向上を図るため、経年劣化が著しい箇所等の改修等を行う。（中央陸上競技場スタンド棟改修工事、中央陸上競技場芝・トラック更新工事）（工事期間：2019～2020 年度（平成 31～32 年度））

- ⑰ 垂坂ソフトボール場整備事業（当初予算資料P161） 予算額 121,700千円  
垂坂ソフトボール場において、利用者の安全性及び利便性の向上を図るため、グラウンド改修と備品購入を行う。

## 民生費

- ① 民間社会福祉施設等整備助成事業費(当初予算資料 P79) 予算額 187,830 千円  
高齢者数の増加への対応や介護保険サービスの充実を図るため、第7次介護保険事業計画に基づき、介護保険施設等の整備を進める。  
地域密着型特別養護老人ホーム（1箇所）  
認知症高齢者グループホーム（1箇所）  
看護小規模多機能型居宅介護（1箇所）

- ②【拡充】生活困窮者自立相談支援・就労準備支援事業費(当初予算資料 P80) 予算額 31,487 千円  
生活困窮者への総合支援について、地域と強いつながりを持ち地域福祉の担い手となっている四日市市社会福祉協議会と一体となった取り組みを実施する。また、生活困窮者の自立に向けた取組として、家計改善支援及び就労準備支援を新たに実施する。

- ③ 父親の子育て参画促進事業（当初予算資料 P90） 予算額 3,325 千円  
事業開始から10周年を迎える「父親の子育てマイスター養成講座」の記念企画として親子で一緒に楽しめる子育てイベントを実施する。イベントでは、体験型講座の実施や、養成講座修了生による市内外での活動や市の子育て支援の取り組みなどを紹介し、父親が積極的に子育てに参画する意識の向上を図る。

- ④ 認定こども園整備事業費（当初予算資料 P92） 予算額 336,700 千円  
園児の減少が著しく進む公立幼稚園を、地区内の保育園と統合し、認定こども園として再編することにより、保護者の就労にかかわらず、地域の子どもたちが集団の中で一緒に教育・保育を受けられる環境を確保する。2019年度（平成31年度）は、保々地区の改修工事に着手するとともに、楠地区と神前地区の実施設計を行う。

- ⑤ 地域型保育事業費（当初予算資料 P93） 予算額 622,019 千円  
新たに認可を予定している3施設を含む17施設の事業者に対して、園児が保育を受けるために必要な費用を、国の定める基準（公定価格）により支給する。

- ⑥【拡充】あけぼの学園管理運営費（当初予算資料 P88） 予算額 64,094 千円  
2019年（平成31年）4月に下海老町の新施設へ移転開園し、定員を70名/日（11クラス）から80名/日（13クラス）へと拡大するほか、新たに居宅訪問型児童発達支援事業を開始する。

## 衛生費

- ①【拡充】検診事業費（当初予算資料 P84） 予算額 44,408 千円  
女性のがん対策として、乳がん検診の個別受診勧奨を行う年代を現行の40歳代・50歳代に加え、60歳代にも拡充し、検診の習慣化を図る。

- ②【新】任意予防接種助成事業費（当初予算資料 P95） 予算額 31,674 千円  
任意予防接種の「ロタウイルスワクチン」について、集団発生及び症状の重篤化を抑止するため、新たに接種費用を助成する。
- ③【拡充】成人風しん予防事業費・成人風しんワクチン等接種公費助成事業費（当初予算資料 P85） 予算額 99,500 千円  
妊婦の風しん感染による「先天性風しん症候群」の発生を防止するため、妊娠を希望する女性やその配偶者などの同居者等に抗体検査を無料で実施することに加え、抗体値が低いと判定された場合にワクチン接種費用（上限 5 千円）を助成する。また、抗体保有率が低い世代の男性（39 歳から 56 歳）に対して、抗体検査を無料で実施し、抗体値が低いと判定された場合に予防接種法に基づき、無料でワクチンの予防接種を行う。
- ④【新】環境計画推進事業費（当初予算資料 P127） 予算額 4,000 千円  
今日の多様化する環境問題や、地域循環共生圏などの新たな考え方に対応するため、「第 3 期四日市市環境計画（平成 23～32 年度）」に続く次期環境計画の策定に着手する。  
（策定年度：2020 年度（平成 32 年度））
- ⑤【拡充】四日市公害と環境未来館展示管理運営事業費（当初予算資料 P129） 予算額 13,877 千円  
開館 5 周年記念として、宇宙航空研究開発機構（JAXA）の協力を得て、親子を対象とした夏休み企画展「(仮) 地球の彩りを宇宙から」を開催し、地球環境問題への意識の向上を図る。

## 農林水産業費

- ①【新】地域農業づくり支援対策事業費（当初予算資料 P108） 予算額 1,000 千円  
「人・農地プラン」など、地域農業のあり方について、基本的な計画を策定し、農地の集積や特産品づくりなどに取り組む集落営農組織や農家組合を支援するため、新たに新規集積面積 10a あたり 1 万円の交付金を交付する。
- ②【新】農業センター再整備事業費（当初予算資料 P110） 予算額 50,000 千円  
農業センターのあり方を見直し、2023 年度（平成 35 年度）から稼働予定の中学校給食センターとの一体整備に着手する。再整備後は、自家農産物の試作加工室など農業者の研修の場に加え、調理室での地元特産物等を活用した調理体験や、体験農場による栽培・収穫体験など、市民が農業と触れ合える場を提供していく。
- ③【新】生産調整現地確認システム導入費（当初予算資料 P109） 予算額 7,400 千円  
主食用米の需給調整に伴い、小麦・大豆等の転作作物は作付け面積に応じて国から生産者に交付金が交付されることから、職員が作付け状況の現地確認を行っている。この現地確認作業を省力化するため、新たに農業地図システムとタブレット端末を導入する。

- ④ **【拡充】土地改良事業費（当初予算資料 P111）** 予算額 108,000 千円  
井堰やゲート等の取水施設の老朽化や維持管理体制が課題となっているため、市が施設所有者に代わり機能診断を行い、施設の長寿命化並びに営農持続を図る。加えて、今後の増加が予想される施設の更新や修繕費用の地元負担を軽減するため、市単土地改良事業の地元負担率を現行の 10%から 5%に引き下げる。
- ⑤ **海岸保全施設整備事業費（当初予算資料 P113）** 予算額 20,000 千円  
築造 50 年以上が経過した楠漁港海岸堤防について、老朽化が進行していることから、「楠漁港海岸長寿命化計画」に基づき、海岸堤防の改修工事を順次行い、後背地の人命及び財産の保全を図る。

## 商工費

- ① **企業立地奨励金交付事業費（当初予算資料 P114）** 予算額 1,520,000 千円  
新規の企業立地や既存企業の新規設備投資、新規産業の創出などを誘発するために制定した四日市市企業立地促進条例に基づき立地奨励金を交付する。
- ② **民間研究所立地奨励金交付事業費（当初予算資料 P115）** 予算額 201,000 千円  
各企業の新たな研究開発拠点の形成を支援し、国内拠点化の促進やマザー機能の集積を図るため、市内の既存企業や新規立地企業が新たに研究施設・設備の新增設を行う場合に奨励金を交付する。
- ③ **商店街共同施設安全対策事業費（当初予算資料 P116）** 予算額 7,000 千円  
アーケード等の共同施設が老朽化していることから、商店街振興組合等によるアーケード等の安全対策事業に対して補助することで、安全・安心な商店街づくりを促進する。
- ④ **女性起業家育成支援事業費（当初予算資料 P117）** 予算額 2,547 千円  
市内で生き生きと活躍する女性起業家を増やし、地域経済の新たな担い手を創出するため、起業を考えている女性向けの起業支援講座に加え、起業間もない女性起業家を支援するジャンプアップ講座を開催するほか、地元企業とのビジネスマッチングに取り組む。
- ⑤ **【新】中小企業人材確保支援事業費（当初予算資料 P119）** 予算額 7,500 千円  
中小企業における人手不足を支援するため、転職フェアにおいて市が出展ブースを確保し、市内中小企業にブースを提供する。また、中小企業が単独で転職フェアに出展する場合は、その費用の一部を補助する。
- ⑥ **【新】中小企業女性就労促進事業費（当初予算資料 P120）** 予算額 3,000 千円  
子育てや介護のために離職した女性の再就労を促進するため、フレキシブルな働き方を導入するための就業規則の改正や、女性が働きやすい職場環境を目指し、子どもの遊び場スペースや更衣室・トイレを設置するなど、事業所等の整備を行う中小企業に対して補助を行う。

- ⑦【拡充】障害者雇用奨励補助金（当初予算資料 P118） 予算額 4,560 千円  
 障害者を雇用する事業主に対して、国の補助金に市単独で上乗せ、又は延長して奨励補助金を交付することにより、障害のある人の雇用機会の拡大を図るため、2019 年度（平成 31 年度）から障害者雇用奨励金一ヶ月あたりの補助金額を 2 万円増額する。
- ⑧【新】東海・北陸 B-1 グランプリ事業費（当初予算資料 P99） 予算額 12,500 千円  
 本市の魅力発信および市外からの誘客を図るため、市制施行 1 2 3 周年を彩るメインイベントの一つとして 2020 年（平成 32 年）5 月頃に実施する予定の「2020 東海・北陸 B-1 グランプリ」開催に向け、市内外に対し P R を行う。
- ⑨【拡充】シティプロモーション事業費（当初予算資料 P100） 予算額 41,300 千円  
 大都市圏におけるイベント開催、ラジオ番組（レギュラー番組）によるシティプロモーション活動のほか、新たな市 P R 映像を作成し、SNS 等で発信する。また、クラウドファンディングを活用して、「こにゅうどうくん」のご当地キャラクター感謝祭の開催など、多様な方法で本市の魅力を市内外へ積極的に発信する。

## 土木費

- ① 近鉄四日市駅周辺等整備事業費（当初予算資料 P140） 予算額 45,000 千円  
 中心市街地の活性化や交通機能の向上を図るため、中央通りを含めた近鉄四日市駅前広場等の整備や J R 四日市駅前広場のリニューアルについての基本計画を策定する。
- ②【新】自動運転導入検討事業費（当初予算資料 P141） 予算額 2,000 千円  
 本市の公共交通における自動運転の活用方策の検討や適切に対応できる環境づくりを促進するため、交通事業者を含めた関係者とともに協議会を設置し、近鉄四日市駅と J R 四日市駅を結ぶ中央通りにおける実証実験の実施等に向けた調査・検討を行う。
- ③ 社会資本整備総合交付金事業費（道路）（当初予算資料 P145） 予算額 235,000 千円  
 商工業などの経済活動の活性化や交通機能の強化を図るため、国・県道の広域道路ネットワークと連携した市内の道路整備を行う。  
 小杉新町 2 号線、泊小古曾線
- ④ 産業支援・生活拠点道路再生事業費（当初予算資料 P146） 予算額 649,620 千円  
 市内の幹線道路となる産業支援道路や、住宅団地を結ぶ生活拠点道路のうち、舗装劣化が進んでいる路線を計画的に再舗装することで、安全で快適な道路の機能維持を図る。また、近年著しい渋滞が発生している交通ネック箇所の改良を進める。  
 日永八郷線、笹川環状 1 号線、千歳町小生線、西阿倉川 62 号線（阿倉川西富田線交差点改良）ほか
- ⑤ 防災・安全社会資本整備交付金事業費（交安）（当初予算資料 P148） 予算額 307,000 千円  
 歩行者の安全な通行や、市民の円滑な移動を支える道路空間を整備する。  
 西日野駅前広場（中央緑地西日野線）、内部駅前広場（采女 51 号線）、曾井尾平線、富田 2 1 号線ほか

- ⑥ 防災・安全社会資本整備交付金事業費（道路ストック関連）（当初予算資料 P150）  
 予算額 293,000 千円  
 道路施設修繕計画に基づき、主要道路の再舗装と道路施設の修繕工事を実施する。  
 ときわ四郷線、沢の川線ほか
- ⑦ 【新】公園緑地整備単独事業費（都市公園内公募設置管理制度適用事業）  
 （当初予算資料 P151） 予算額 11,000 千円  
 公募設置管理制度（Park-PFI）を活用し、公園緑地内に利用者の便益を高める飲食店等の  
 立地を図る。  
 中央緑地
- ⑧ 準用河川改修事業費（当初予算資料 P152） 予算額 216,000 千円  
 治水安全度の向上を図るため、準用河川の拡幅等の改修を進める。  
 朝明新川、源の堀川、米洗川中流
- ⑨ 【新】堀川内水対策事業費（当初予算資料 P153） 予算額 19,000 千円  
 三重県が行う三滝川分派整備に合わせ、海蔵川に流入する準用河川堀川の内水対策を行う。

## 消防費

- ① 【新】南消防署整備事業費（当初予算資料 P193） 予算額 22,379 千円  
 本市の南部臨海地域における消防活動拠点の機能強化を図るため、老朽化が進んでいる南  
 消防署庁舎の改築整備に着手する。2019 年度（平成 31 年度）は 4 ヶ年計画の初年度として、  
 基本設計及び地質調査を実施する。
- ② 消防車両整備事業費（当初予算資料 P190） 予算額 162,380 千円  
 消防車両更新計画に基づき、老朽化した車両を更新する。また、車両更新に併せて、水難  
 救助車の機能強化を図るとともに、狭隘地域での消防救急活動に有効な軽自動車の救命消防  
 車や多くの傷病者や消防隊員を輸送することができる救急啓発機能付きの人員輸送車を導入  
 する。

## 教育費

- ① 海蔵小学校改築整備事業費（当初予算資料 P178） 予算額 1,448,000 千円  
 海蔵小学校の学習環境の充実・改善を図るため、老朽化したベランダ形式校舎の改築工事及  
 び運動場整備の設計を行う。  
 （2019 年度（平成 31 年度）校舎整備完了予定・2020 年度（平成 32 年度）運動場整備完了予定）
- ② 大規模改修事業費（小中学校）（当初予算資料 P180） 予算額 958,500 千円  
 良好な学習環境の確保と施設の長寿命化を図るため、校舎及び屋内運動場の大規模改修を  
 行う。  
 工事：泊山小学校、桜小学校、朝明中学校、楠中学校  
 設計：内部小学校、常磐西小学校、笹川小学校、三滝中学校



- ③【新】中学校給食センター整備事業費（当初予算資料P182） 予算額 50,758千円  
2023年度（平成35年度）からの中学校給食の導入に向けて、給食センターの整備・運営をPFI事業により行うための導入可能性調査及び事業者選定のためのアドバイザー業務委託を行う。また、受入校となる中学校のうち7校について、配膳室及びエレベーター整備の設計を行う。
- ④ 登校サポートセンター整備事業費（当初予算資料P183） 予算額 146,700千円  
不登校児童生徒が増加する中で、より多くの利用者の相談や活動が可能になるよう、中央緑地内の旧勤労者・市民交流センター北館全館を登校サポートセンターとしてリニューアルする施設改修を行うとともに、セラピスト等を増員する。  
（2019年（平成31年）9月末整備完了予定）
- ⑤【拡充】 教育情報通信システム運営費（推進計画分）（当初予算資料P184） 予算額 46,400千円  
ICTを活用した良好な学習環境を確保するため、小学校において各校40台ずつのタブレット端末を配備（2019年（平成31年）9月頃予定）し、普通教室における学習時に児童が1人1台ずつタブレット端末を利用できる環境を整備する。また、平成21年度に導入した電子黒板等の機器の修繕及び段階的な入れ替えを行う。
- ⑥【拡充】 学校英語教育充実事業費（当初予算資料P185） 予算額 114,972千円  
英語を効果的に学ぶ環境整備を進めるとともに、新学習指導要領の実施に向けた英語教育の指導体制を確立するため、中学校における四日市市英語指導員（YEF）の増員や、小学校における英語専科教員による授業時数の増数を行う。また、教員の指導力向上のための研修を行う。
- ⑦【拡充】 学校業務サポート事業費（当初予算資料P186） 予算額 90,993千円  
教職員の業務負担軽減を図り、子どもたちと向き合う時間を確保するため、授業以外の業務の一部を担う学校業務アシスタントを全小中学校に配置するほか、一部の中学校に部活動協力員を配置する。また、各校で管理している児童生徒や教職員に関する情報を全校統一のシステムで管理できるよう、校務支援システムを導入する。  
（2019年（平成31年）10月頃稼働予定）
- ⑧ 久留倍官衙遺跡整備事業費（当初予算資料P187） 予算額 142,683千円  
国指定史跡である久留倍官衙遺跡において、史跡地地区における整備工事のほか、屋外トイレの設置、道路案内標識設置等の周辺環境の整備を行う。また、完成した八脚門（復元）の公開などの普及啓発事業を行う。（2020年（平成32年）3月頃整備完了予定）

## 5. 特別会計の主な内容

### (1) 競輪事業 (当初予算資料 P107、121) 予算額 17,440,000 千円 (**③⑩18,370,000 千円**)

競輪事業の車券売上が厳しい状況の中、四日市競輪場の特性を活かし、これまで昼間実施していた記念競輪（GⅢ）をナイター化し、ナイターGⅢとして2回実施する。また、ミッドナイト競輪を初めて実施し、ナイター競輪に特化した事業展開を図り、更なる経営の安定化を図る。（開催日数 ③⑩46日 → ③⑪50日）

繰出金については、一般会計に200,000千円を繰り出す。

車券売上高 ③⑩17,180,000千円 → ③⑪16,086,000千円（△1,094,000千円）

### (2) 国民健康保険 (当初予算資料 P81) 予算額 29,140,000 千円 (**③⑩28,117,000 千円**)

国民健康保険の被保険者が、いつでもどこでも安心して医療が受けられるよう、医療費の適正化にも取り組みながら、安定的な運営に努める。

また、被保険者が健やかに暮らしていけるよう、がん検診や脳ドックの助成といった各種の保健事業を引き続き実施するとともに、特定健康診査の受診率や特定保健指導の利用率の向上に努める。特に糖尿病重症化予防事業については、地域の医療関係者と連携を深めて取り組む。

なお、2019年度（平成31年度）の保険料率については、支払準備基金を活用して現行水準を維持する。

被保険者数 ③⑩60,600人 → ③⑪57,676人（△2,924人）

一人当たり保険給付費 ③⑩315,861円 → ③⑪346,415円（30,554円）

### (3) 食肉センター食肉市場 (当初予算資料 P107) 予算額 736,000 千円 (**③⑩759,000 千円**)

消費者へ、より安全で高品質な食肉を安定供給するため、施設・設備の計画的な更新整備や的確な施設維持・衛生管理を実施し、施設の安定稼働に努める。

施設整備事業費（アセットマネジメント含む）

③⑩175,800千円 → ③⑪131,308千円（△44,492千円）

- ・熱交換器更新工事
- ・7号冷蔵庫設備更新工事
- ・工水設備圧送ポンプ改修工事
- ・2号冷蔵庫枝肉搬送レール更新工事 等

施設維持管理事業費 ③⑩158,013千円 → ③⑪162,512千円（4,499千円）

2019年度（平成31年度）末市債残高見込 ③⑪733,982千円（③⑩826,957千円）

**(4) 農業集落排水事業 (当初予算資料 P196) 予算額 358,600 千円  
(③0320,300 千円)**

農村集落の生活環境の向上及び公共用水域の水質保全を図るため、施設の適切な維持管理を行う。

施設維持管理経費 (12 地区) ③0165,003 千円→ ③1195,155 千円 (30,152 千円)  
2019 年度 (平成 31 年度) 末 市債残高見込 ③11,674,820 千円 (③01,780,950 千円)

**(5) 介護保険 (当初予算資料 P75) 予算額 21,983,000 千円  
(③021,936,000 千円)**

高齢者が住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けられる「地域包括ケアシステム」の深化・推進に向けて、相談支援体制の強化、必要な介護サービスの提供、医療・介護連携の推進に努めるとともに、「介護予防・日常生活支援総合事業」の活用により、住民主体の介護予防や生活支援の取り組みの充実を図る。

**① 高齢者の元気づくり支援事業 (当初予算資料 P77) 予算額 72,742 千円  
(うち一般会計 1,800 千円を含む)**

高齢となってもできるだけ介護が必要とならないよう、在宅介護支援センター、地域包括支援センター、民間介護サービス事業所のリハビリテーション専門職などとの連携のもと、介護予防意識の啓発、住民主体の介護予防活動・健康ボランティアの育成・支援を進める。

**② 【拡充】介護予防・生活支援事業 (当初予算資料 P78) 予算額 38,856 千円**

2019 年度 (平成 31 年度) から、「介護予防・日常生活支援総合事業」による住民主体サービス (サービス B) の運営費補助メニューに、AED のリースに係る加算を追加 (通所) するとともに、リース車に係る加算を追加 (訪問・通所) し、団体の運営支援拡充を図る。  
(訪問型 : ③0 7 箇所→ ③111 箇所、通所型 : ③0 12 箇所→ ③115 箇所)

**(6) 後期高齢者医療 (当初予算資料 P83) 予算額 6,306,000 千円  
(③06,453,000 千円)**

県内の 29 市町で構成する三重県後期高齢者医療広域連合が、75 歳以上の後期高齢者等が加入する医療保険制度の運営主体となり、資格認定・管理、被保険者証の交付、保険料の賦課、医療費給付、後期高齢者健康診査などの事務を行う。市は保険料の徴収や窓口での申請受付などの役割を担う。

被保険者数 ③038,922 人→ ③140,172 人 (1,250 人)  
後期高齢者医療広域連合納付金 ③06,320,738 千円→ ③16,131,869 千円 (△188,869 千円)

## 6. 企業会計の主な内容

### (1) 水道事業（当初予算資料 P194）

予算額 11,157,681 千円

(③11,034,096 千円)

安全安心で良質な水道水を供給していくため、大規模地震に備えた基幹管路の耐震化を推進するほか、経年施設の更新等を進める。また、取水井の更新にも取り組む。

第3期水道施設整備事業 ③02,448,823 千円→③12,613,515 千円（164,692 千円）

- ・基幹管路耐震化（基幹管路、水管橋等）
- ・経年管・経年施設更新
- ・水源確保（取水井更新）等

2019 年度（平成 31 年度）末企業債残高見込 ③13,140,746 千円（③13,784,901 千円）

### (2) 市立四日市病院事業（当初予算資料 P203）

予算額 24,664,023 千円

(③24,776,877 千円)

第三次市立四日市病院中期経営計画（平成 29～32 年度）の重点項目に掲げる医療機関群Ⅱ群病院（2018 年度（平成 30 年度）から DPC 特定病院群に名称変更）の堅持にあたり、高い診療密度の維持、難易度の高い手術の実施、重症患者に対する診療の実施に必要な最新の医療機器の導入・更新や施設の整備を図る。

- ・内視鏡下手術支援ロボットを用いた手術の保険適用が 2018 年度（平成 30 年度）の診療報酬改定で新たに 12 件追加された。これを機に当該手術機器を 1 台導入し、精緻な手術による安全性の向上とともに、患者への負担軽減等を図り、高度急性期病院としての医療機能を強化する。

【新】内視鏡下手術支援ロボット（1 台）購入費

③0270,400 千円→ ③1315,000 千円（44,600 千円）

- ・【拡充】現在の集中治療室（ICU）を拡張（8 床から 10 床へ 2 床増床）し、重症患者に対する管理機能強化のための改修工事の実施に向け、設計業務を委託する。

【新】ICU 機能強化改修工事設計業務委託費 ③0 千円→ ③125,000 千円（25,000 千円）

- ・患者に安全、安心で高度な医療を提供するため、移動式 X 線透視診断装置、眼底・断層画像撮影装置、超音波診断装置などの医療機器等の整備更新を図る。

医療機器等整備事業 ③0500,000 千円→ ③1500,000 千円（0 千円）

2019 年度（平成 31 年度）末 企業債残高見込 ③10,504,555 千円（③11,002,742 千円）

**(3) 下水道事業** (当初予算資料 P195)

**予算額 29,415,191 千円**

**(~~30~~30,583,327 千円)**

- ・生活環境の向上及び川・海などの公共用水域の水質保全を図るため、汚水管渠整備を推進するとともに、既存施設の耐震化や更新に努める。

公共下水道汚水対策事業 ~~30~~5,130,000 千円→ ~~31~~4,426,900 千円 (△703,100 千円)

2019 年度 (平成 31 年度) 末 下水道普及率 ~~31~~79.9% (~~30~~78.7%)

- ・市民の生命・財産を守る「雨に強いまちづくり」を進めるため、市街化区域の雨水排水施設の整備を推進する。

公共下水道雨水対策事業 ~~30~~5,249,000 千円→ ~~31~~4,792,600 千円 (△456,400 千円)

- ・浜田通り貯留管整備
- ・吉崎ポンプ場整備
- ・新富洲原ポンプ場、常磐ポンプ場等施設更新 等

2019 年度 (平成 31 年度) 末 雨水排水整備率 ~~31~~50.3% (~~30~~50.1%)

2019 年度 (平成 31 年度) 末 企業債残高見込 ~~31~~81,421,730 千円 (~~30~~82,288,745 千円)